

常任委員会

総務

活動日誌

- 4月17日 調査 みんなが主役のまちづくり「まちづくり基本条例」について
報告 第2次甲賀市多文化共生推進計画見直し（案）に係るパブリックコメント、令和8年度 地域未来交付金（デジタル実装型）の採択、令和7年度甲賀市防災会議の会議結果、令和6年度決算 甲賀市財務書類について
- 5月22日 調査 甲賀市シティプロモーション戦略方針（甲賀市広報戦略方針：改定）の策定方針について
報告 甲賀市地域情報基盤（施設等）民間移行事業の進捗について

所管事務調査

みんなが主役のまちづくり

「まちづくり基本条例」について

甲賀市まちづくり基本条例は平成28年4月1日施行され、自治の基本理念「市民が主体のまちづくり」や市政運営の基本的な事項「市民、議会、行政それぞれの役割や市民参加・協働など」、甲賀市のまちづくりのルールを定めたものです。

特徴は、①みんなで考えてつくりました。②第8条で「子どもの権利」について定めています。③第17条と18条で「区及び自治会」「自治振興会」について定めています。

条例を活かしていくためには、協働で情報共有、市民参加、信頼関係が大切です。

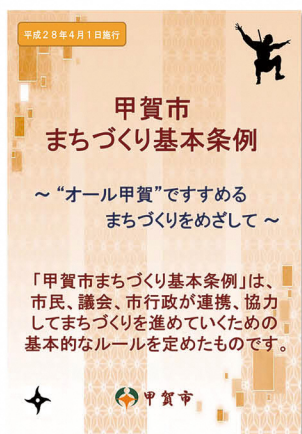
Q 第13条「市民の役割及び責務」として市民同士の支え合いや社会のルールを守る責務とあるが、責務と書く意味は何か。

A 市民委員から「責務」という言葉が出てきた。行政や他主体から言われるのではなく、「各主体それぞれがまちづくりを担う」という思いから出てきたと思う

ている。一人ひとりがまちづくりに関心をもってもらうことが大切である。

Q 本条例が知られていない現状、責務があるなら、市民にどのように周知するのか。

A 市民アンケートで62・2%が知らないと回答、結果を重く受け止め、時勢に応じたアップデートを図り、出前講座や勉強会等の開催、若者世代が主体的にまちづくりに参画できるよう、オンラインプラットフォームの活用等参画しやすい関係づくりを推進する。



甲賀市シティプロモーション戦略方針（甲賀市広報戦略方針：改定）の策定方針について

第2次甲賀市総合計画に基づき、「広報力の強化」によるシティプロモーションやインナープロモーションの強化を目指します。

組織の新設…令和8年4月の機構改革により、若者・子育て世代への訴求や、ふるさと納税・移住定住施策を戦略的に進める「シティプロモーション推進課」が新設されました。

方針のアップデート…定義や取組を可視化し、市民や民間事業者らと一体となって「まちのファンづくり」を進めるため、従来の「広報戦略方針」を「シティプロモーション戦略方針」へと発展させます。

今後の進め方…第2次総合計画の期末（令和10年度）までの3年間、スピード感をもって本方針の策定と具体的な事業の実行・改善を並行して集中的に行います。取組視点は

- ・まちを「おすすめ」したい
- ・まちをより良くしたい
- ・まちで活躍する人を応援したい

活動日誌

- 4月13日 調査 国民健康保険の保険料水準の統一について
報告 障害福祉サービスに係る自立支援給付費の加算金不正受給について
信楽小学校改築（1期）工事の進捗報告について
甲賀市立小中学校の教職員に関する業務量管理・健康確保措置に関する実施計画について
- 5月13日 調査 図書館5館現地踏査
- 5月18日 調査 子育て支援施設整備方針に基づく保育施設等再編の進捗状況について
報告 （仮称）甲南なかよし第二児童クラブの施設整備について
学校再編事業の今後の取組について 他

所管事務調査

国民健康保険の保険料（税）水準の統一について

現在進められている国民健康保険料（税）の水準を県内で統一する取組について、進捗状況と懸念事項について確認しました。

Q 県内で統一することによって危機的な状況が緩和されるのか。

A 年々医療費が上昇する中で、その変動を県内市町で支え合う形でメリットがあると考えている。

甲賀市子育て支援施設整備方針に基づく保育施設等再編の進捗状況について

Q 新たな保育施設の立地や公立・民間の整備方針をどう考えているのか。また既存民間園の老朽化対策はどう考えているのか。

A 立地については送迎や交通利便性を考慮して検討する。公立・民間の区分は未定。民間運営は一定の園児数確保が必要と考える。既存民間園の老朽化対策は補助制度を活用し計画的に整備

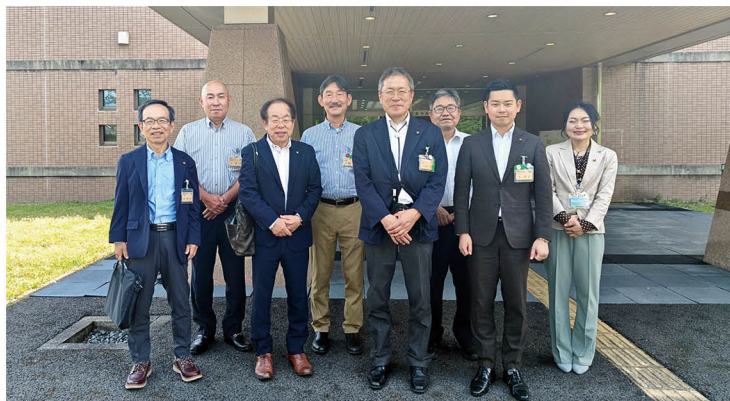
支援していく。

Q 今年度に予定されている地域・保護者説明会では、どのような内容を説明・協議する予定か。また候補地はどの段階で示すか。

現地視察

図書館5館現地踏査

市内図書館5館すべてを訪問、現状と課題について調査確認しました。



甲賀図書情報館にて

報告事項

A 初回は保育環境や整備の考え方を説明し、候補地の具体提示は今後検討する。段階的に議論を深め、年度内に方向性を決定したい。

（仮称）甲南なかよし第二児童クラブの施設整備について

Q 建設予定地の検討の過程は。

A 当初、甲南第二小学校敷地内や隣接地が候補であったが、学校周辺は浸水区域であり、甲南西保育園跡地とした。

Q 児童クラブまで歩いて10分。安全は確保されるか。児童クラブへの通所は個別が集団か。迎えはあるのか。

A 学年により集団下校、徒歩で児童クラブへ向かう。安全面では、例えば事業者が迎えに行くなど、期間等を含め検討したい。

常任産業建設委員会

活動日誌

- 4月15日 調査 新基本計画実装・農業構造転換支援事業について
報告 令和7年度長距離通勤支援の実績について
近江鉄道沿線地域公共交通生成協議会について
下水道使用料の改定に係る答申について
- 5月20日 調査 信楽産業展示館指定管理事業について
報告 オウム真理教対策の状況について

所管事務調査

新基本計画実装・農業構造 転換支援事業について

JAこうかが整備を進める「JAこうか広域育苗センター整備事業」の現地視察を実施しました。本事業は、高齢化や担い手不足が進む中においても、甲賀地域の水稻農業を維持・発展させるため、老朽化した複数の育苗センターを集約し、効率的で持続可能な苗供給体制を構築するものです。現地では、育苗施設の整備計画や最新設備の導入内容について説明を受け、作業の省力化や品質向上、安定供給に向けた取組を確認しました。



信楽産業展示館

指定管理事業について



信楽産業展示館は、県立陶芸の森と一体整備・運営されてきた施設であり、同一敷地内の県営施設と市営施設の管理運営を公益財団法人滋賀県陶芸の森が指定管理を非公募で選定されています。令和8年第2回定例会で指定管理期間1年間で施設のあり方について確認を行うと決めたため、現地視察を行いました。

有人警備の廃止検討や施設の老朽化など検討課題も多く、施設維持に向けて指定管理者と意見交換を行いました。年内には一定の方向を決め結論を出す予定となっています。

報告事項

令和7年度長距離通勤支援金の 実績について

市内商工事業者の人材確保及び従業員の就労継続を図り、事業維持及び持続的発展に資するため、長距離通勤支援金を交付しています。

確定実績 交付件数 22社

105人

交付金額 622万円

下水道使用料の改定に 係る答申について

令和7年8月から7回にわたり、甲賀市下水道事業の現状と使用料改定の必要性や使用料改定の考え方について甲賀市下水道審議会の答申を受け委員会に報告されました。

オウム真理教対策の 状況について

所管委員会が厚生文教常任委員会から産業建設常任委員会に変わりました。最近の活動状況、甲賀市オウム対策住民協議会の活動内容など報告されました。

広聴部会活動報告



希望ヶ丘学区まちづくり協議会(6月4日)

広聴部会 1 班

出席議員：西村(部会長)、福井(班長)
谷永、岡田、奥村

《主な意見等》

- 令和 8 年度から新しくなった自治振興交付金の利用についての具体的な整理ができていないと感じる。
- 法令等の関係で地域が実施する移動支援には限界がある。
- 協働の捉え方として、地域と行政の役割分担が不明確である。
- 指定管理者制度などにおける使用料減免の考え方が統一されていないと感じる。



山内まちづくり協議会(6月20日)

広聴部会 2 班

出席議員：西村(部会長)、北田(班長)
田中、村木

《主な意見等》

- 地域活動を担う若い世代が少ない。行事や地域の役などに負担を感じている。
- 小学校や保育園が閉校・閉園して、大人数で集まる場所が限られている。
- 災害時、地域の避難施設の改修、収容力の確保が必要である。
- 空き家の除却に対する費用の拡充を検討してほしい。
- 高齢者の外出を確保する「福祉団体バス助成の拡充」や「公共交通の拡充」が必要。



鳥居野区(7月8日)

広聴部会 1 班

出席議員：瀬古(委員長)、西村(部会長)、
福井(班長)、谷永、岡田、奥村

《主な意見等》

- 避難場所のアクセス道路(広域農道)への歩道設置、歩行者専用橋の設置が必要。
- 区長を対象にした補助金申請内容の詳しい説明が欲しい。今では不十分と感じる。
- 災害時の要支援者への対応や情報伝達の面に不安を感じている。
- 福祉団体バス助成について、来年度以降の減額の方針を見直してほしい。
- 工業団地の今後のあり方が、地元の詳細に伝わっていないと感じる。



甲賀市議会広聴部会では、6月4日～7月13日にかけて、「区・自治会、自治振興会、まちづくり協議会」を対象にした4件の意見交換会を開催しました。ご応募いただいた皆様、ありがとうございました。今回出された意見については、各班で取りまとめたものが、実施報告書として議長に提出されました。今後、必要に応じて、各常任委員会でもより良い方向に向けた議論が行われます。

櫛野区(7月13日)

広聴部会3班

出席議員：瀬古(委員長)、西村(部会長)
橋本(班長)、糸目、木村

《主な意見等》

- ライドシェアなど実証実験もなされているが、買い物や通院のための高齢者の移動手段の拡充が必要と考える。
- 民間の医療機関と連携した移動手段の確保の検討をしてほしい。
- 実施事業者と連携して移動販売の実施場所や時間をわかりやすくしてほしい。
- 市の情報(補助金やサービス)を直接、住民(特に高齢者)に説明する機会を作してほしい。
- 若者が定着するシティプロモーションを確実に展開すべきと感じる。



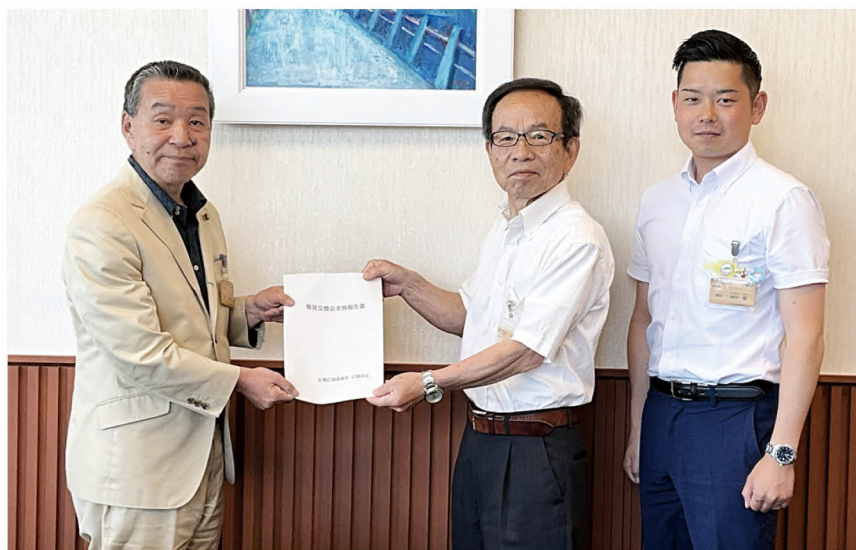
※以上4件の内容については、実際の意見者の表現と多少異なる場合があります。



【議長へ実施報告書(中間報告)を提出】

7月14日に広報広聴委員会(瀬古委員長、西村広聴部会長)から戎協議長へ4件の実施報告書の提出を行いました。なお、後半4地域との意見交換会も含め、最終報告を提出する予定です。

実施報告書については、各班で「実施内容」「主な意見等」「今後、議会として取り組むべきと考える事項」が内容として記載されています。



視察報告 公民連携調査特別委員会

本特別委員会は、市が推進する公民連携手法の有効性を調査するために昨年12月に設置され、積極的に調査や視察研修を行っています。特別委員会では去る5月11日・12日の2日間、山口県周南市、香川県坂出市において行政視察を行いました。

徳山駅前賑わい交流施設整備事業について

山口県周南市 徳山駅前賑わい交流施設は平成30年にオープンし、年間200万人が利用しています。指定管理者はCCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)で、図書館をメインに書店やカフェも併設されています。また、様々なイベントや自主事業も開催されており、駅を中心とした賑わいづくりにつながっています。



周南市立徳山駅前図書館にて

坂出市中心市街地活性化公民連携事業について

香川県坂出市 坂出市では公民連携基本計画を策定し公民連携事業を行っております。

中心市街地活性化公民連携事業では①坂出駅前エリアと②坂出緩衝エリア等の公民連携事業に取り組みされており、坂出駅前エリアでは道路整備等とともに駅前拠点施設の整備が進められています。駅前拠点施設は図書館を中心に「まちのリビング」を目指して整備が進んでいます。

周南市及び坂出市のそれぞれの取組は規模は大きいものの、図書館を中心に賑わいづくりを進めておられ、貴生川駅周辺整備事業の参考となるとともに、委員会の共通認識にもつながりました。

議会改革度調査ランキング

早稲田大学デモクラシー創造研究所が「地域経営のための議会改革度調査2025」ランキングを公開し、甲賀市議会は1,372議会中39位です。

2023年	2024年	2025年
全国総合		
114位	96位	39位
滋賀県内総合		
4位	4位	1位



議員表彰



全国市議会議長会第102回定期総会において、甲賀市議会から山岡議員が表彰されました。

在職20年 山岡 光広 議員